

新型コロナ感染拡大が止まらない!

人の命を優先し、オリンピックは直ちに中止を

「緊急事態宣言」が発令されている東京都はじめ、全国各地でコロナ感染者が今まで以上に拡大され、命を落とす人が増えています。大きな原因にオリンピックの開催があることは明白です。群馬・利根沼田でも例外ではありません。群馬県では1日に50人を超えました。利根沼田地域では6月中旬から1カ月ほどは感染者が出ませんでした。7月23日から新規感染者が確認されています。

利根沼田管内の新規感染者

月日	年齢	性	職業	症状
7/23	40代	男	自営業	発熱
/25	80代	女	無職	発熱
/26	20代	男	大学生	発熱
/27	20代	男	農業	発熱

感染力が強いデルタ株に置き換わっています。いっそうの注意を!



開催強行はオリンピック精神・憲章に逆らっている

菅首相は「安心安全なオリンピック」などといいますが、選手村にいるオリンピック選手をはじめ関係者の感染も相次いでいます。このような状態で公平・公正なオリンピックといえるのでしょうか。

オリンピック精神・憲章は、「スポーツを通じて平和でよりよい社会をつくっていく」と明言しています。

オリンピックの開催により、新型コロナ感染拡大は一層広がっています。重症者も増え医療現場はパニック状態に突入し、医療崩壊寸前で奮闘する医療関係者も疲労困ぱいの状況と報道されています。コロナ感染により命を落とす者も日々増えています。観光関連業者や飲食業者などをはじめ失業者も増え一層厳しい経済の状況が続いています。子どもの運動会は中止という今の日本が「平和でよりよい社会」に向かっているとと言えるでしょうか。

沼田市市政改革大綱について(7)



井之川博幸市議

昨年、沼田市市政改革大綱について6回にわたって連載してきました。主に人口減少についてを問題に、第6回では昭和村と沼田市の子育て支援制度と将来人口推計の数値の違いなどを報告してきました。その結果は、子育て支援制度などの施策を充実させれば新生児数の減少を遅らせることができ、人口減少に一定の歯止めがかけられるというものでした。

今後は、沼田市第2次市政改革大綱などの紹介と国内・世界を問わず少子化及び人口減少の克服に効果を上げている施策などを研究・紹介しながら、どうしたら急速な人口減少を食い止めることができるのか、みなさんと考えていきたいと思えます。

第2次市政改革大綱も人口減少が前提

市政改革大綱は2019年度で終了し、2020年度から2025年度までの第2次市政改革大綱が始まっています。

最初の題目の沼田市が直面する課題と行政改革の必要性では、人口減少と高齢化の進行と題し、市の独自推計では、2015年に50,679人であった人口が2060年には20,104人にまで減少すると予測されており、市はそれを34,000人にするべく取り組んでいると述べていますが、実際はあまり効果は出ていません。急速な人口減少化では、どのような改革?が行われるのか、市民にとってはどうなのか?などを考えていきたいと思えます。

三峰山中腹の土砂埋立は産廃と確認できず

三峰山中腹の土砂埋立については、15日の県・市の現地調査で「産業廃棄物」かどうかを確認するということでしたが、産業廃棄物という確認はできなかったという結論で、今後の埋立計画書を提出してもらい、判断していくことになったとのことでした。

*お知らせ

三峰山の土砂埋立については、酒井宏明県議が参加し、8月3日現地調査を行います。同行ご希望の方は、井之川 090-7278-6199までご連絡ください。共産党地区委員会午後1時30分出発

2021年8月1日 No.1027

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料